NEXT ISSUE vol.300 新春号（1月15日号）

◆「認知症と性と ウェルビーイング」祝出版！

ブリコラージュ編集部
〒171-0021　東京都豊島区西池袋5-26-15 久保田ビル2F
TEL　03-5986-1777／FAX　03-5986-1776
E-mail : brico@nanasha.co.jp
http://www.nanasha.net（ブリコラージュ）
http://rihaken.org/（生活とリハビリ研究所）
情報はこちらへ！　joho@nanasha.co.jp

今号のつぶやき

◉6年に及んだヘルパー裁判が終わった……という報告のつもりで特集を組み始めたら、いえいえ、裁判終了は始まりのゴングでした。
◉おかしいと感じたら、まずそれを言葉にすること、共有すること、そして発信することができることを私たちはこの裁判を通して学びました。
◉裁判の意志は確実に受け継がれ、すでに動き始めています。ボールは投げられた！　さあ、あなたはどうする？
◉2025年最後の発行号です。1年間のご愛読、本当にありがとうございました。2026年、ブリコラージュは大きな変換を迎えます。形は変わってもブリコラージュという場で想いを共有、お伝えしていきたいと思っています。2026年もどうぞよろしく！
（ちょっと早いけど）よいお年をお迎えください。　（編集部）

チャンネル登録をよろしくー！

YouTube「ななしゃチャンネル」はじめました！

ブリコラージュは介護現場の皆様に支えられて、創刊35年を迎えました。
介護現場で頑張っているみなさんを応援したい！ ブリコラージュという雑誌があることを、1人でも多くの人に知ってもらいたい！ ブリコラージュを読んでくださった人に、もっと楽しんでもらいたい！
そんな想いで、YOUTUBE「ななしゃチャンネル」をはじめました。

目玉コーナーは……

- 髙口光子の告解室
- 髙口光子の元気が出る介護塾・ダイジェスト動画
- 寺田真理子の語るパーソンセンタードケア
- たの思想な介護詩
- 「介護百首」にまつわるエピソード
- ブリコラージュ紹介　など

是非ご覧ください！

ICT化についてあなたの声を聞かせてください！

ICTの波が介護の現場に押し寄せてきています。
集中治療室でもない「生活の場」である介護現場にカメラが入ることへの違和は強烈に感じるものの、しかし、時代の流れを変えることはできません。また、すべてのテクノロジーが介護にとってマイナスであるとも思いません。「介護はテクノロジーたちとどのように付き合えばよいのか」を考えていくために、広く介護現場の声を募集します。ICTを取り入れてよかったこと・まずかったこと、ICTにまつわるエピソードなどなど、あなたの現場の状況やご意見を聞かせてください。

◆**テーマ**：**ICTがやってきた！**―私の現場のICT状況―
◆**文字数**：800文字以内　◆**締め切り**：1月末
◆**送付先**：ブリコラージュ編集部
FAX　03-5986-1776　**メール**　web@nanasha.co.jp　HPからも送ることができます。

七七舎　検索

◆お名前・ご住所・TEL・職種・勤務歴を明記してください。
※匿名ご希望の方はその旨お書きください（ペンネームもOK）。
※掲載にあたっては、内容を損なわない範囲で編集の手を入れることがあります。